



TITLE:

アオスジアゲハとセセリチョウ科 の一種(チョウ目)の塩分補給 (2015年)

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. アオスジアゲハとセセリチョウ科の一種(チョウ目)の塩分補給(2015年). KINOKUNI 2015, 88: 19-19

ISSUE DATE:

2015-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/204541>

RIGHT:

発行元の許可を得て登録しています.

アオスジアゲハとセセリチョウ科の一種(チョウ目)の塩分補給(2015年)

Supply of salt by *Graphium sarpedon nipoponum* and *Pelopidas* sp. (Lepidoptera) in 2015

久保田 信

これまで和歌山県白浜町に所在する京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所“北浜”では、モンキアゲハ(久保田, 2011a), セセリチョウの一種(久保田, 2011b), アオスジアゲハ(久保田, 2012a, b), タテハチョウ科の一種(久保田, 2015)が吸水行動をした記録がある。今回, 再び, アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipoponum* Fruhstorfer とセセリチョウ科の一種 *Pelopidas* sp. の翅の全く傷んでいない個体が海水を吸水した。

アオスジアゲの1頭は, 2015年8月12日7時34分, “北浜”の潮間帯の岩の上で何度も吸水した。2015年8月31日12時1分に, 再び1頭が満潮線の砂浜で何度も吸水した。

セセリチョウ科の一種は, 2015年8月30日16時30分, 波打際に舞い降りて海水を吸っていたが, しばらくすると打ち寄せる波をかぶりそうになって飛びのいた。

以上の様な当該定点でのチョウの吸水は年に数度も遭遇することはないが, 本年はより多い遭遇となり, 全て8月の盛夏に見られた。2011年以降, アオスジアゲハは今回で4度目となり, 北浜では最も頻繁にこの様な行動が見られる。また, セセリチョウ科の一種(全て同種と思われる)も今回で3回目の遭遇である。

引用文献

- 久保田 信. 2011a. モンキアゲハ(チョウ目, アゲハチョウ科)の塩分補給. KINOKUNI, (79): 15.
久保田 信. 2011b. セセリチョウの一種(チョウ目, セセリチョウ亜科)の塩分補給. KINOKUNI, (80): 15.
久保田 信. 2012a. アオスジアゲハ(チョウ目, アゲハチョウ科)の塩分補給. KINOKUNI, (81): 12.
久保田 信. 2012b. アオスジアゲハ(チョウ目, アゲハチョウ科)の塩分補給を再度確認. KINOKUNI, (82): 14.
久保田 信. 2015. タテハチョウ科の一種の塩分補給. くろしお, (34): 54.

(くばた しん 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459)

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)